



Cooling Coat

施工マニュアル

**01**

窓の洗浄

中性洗剤等を水で薄めた洗剤水でよく洗い洗剤分を綺麗に拭き取り乾燥させてください。洗いが悪いと弾きの原因となります。

**02**

マスキング

コーティング剤が付いてしまうと取れなくなりますので予め付着しそうな所は養生してください。

**03**

プライマー塗布

コーティングの密着を良くするためキッチンペーパーなどを使用しガラス全体にムラなくしっかり塗布してください。

**04**

コーティング塗布

付属のローラーで縦横にゆっくり丁寧に塗り伸ばしてください。タレやカスレが無いよう何度か縦横往復を繰り返してください。

*1平米に使用するコーティング剤の量は約20mlです

**05**

乾燥

表面の乾燥時間は1~2時間ですが完全乾燥までは24時間はかかりますのでいじらないようにしてください。匂いはよく換気いただくと1時間程度で消えます。

*別売りで専用剥離剤を販売しております

剥離剤を食器洗い用スポンジなどにたっぷり付けガラス全体に塗り込みます中性洗剤を水で薄めた洗剤水を使用しスポンジでこすり落としてください、スクレーパーなども併用すると便利です。

動画参照▶



Cooling Coat

施工マニュアル

**01**

窓の洗浄

中性洗剤等を水で薄めた洗剤水でよく洗い洗剤分を綺麗に拭き取り乾燥させてください。洗いが悪いと弾きの原因となります。

**02**

マスキング

コーティング剤が付いてしまうと取れなくなりますので予め付着しそうな所は養生してください。

**03**

プライマー塗布

コーティングの密着を良くするためキッチンペーパーなどを使用しガラス全体にムラなくしっかり塗布してください。

**04**

コーティング塗布

付属のローラーで縦横にゆっくり丁寧に塗り伸ばしてください。タレやカスレが無いよう何度か縦横往復を繰り返してください。

*1平米に使用するコーティング剤の量は約20mlです

**05**

乾燥

表面の乾燥時間は1~2時間ですが完全乾燥までは24時間はかかりますのでいじらないようにしてください。匂いはよく換気いただくと1時間程度で消えます。

*別売りで専用剥離剤を販売しております

剥離剤を食器洗い用スポンジなどにたっぷり付けガラス全体に塗り込みます中性洗剤を水で薄めた洗剤水を使用しスポンジでこすり落としてください、スクレーパーなども併用すると便利です。

動画参照▶





株式会社インVENT

□施工上の要点・注意事項

1. 汚れ付着物除去

- ・ガラスの清掃の重要性について

コーティングを美しく仕上げる為にガラスを綺麗な状態にしておく必要があります。

ガラスは色々な付着物があります。

a.ほこり、チリ、油分等はベークリーナーで簡単に除去できます。

b.強固な付着物、シミ・ウロコ等は、ベークリーナーでは落ちませんので、スクレーパー等でガラス面にキズを付けないように削ぎ落とす必要があります。

c.最終的には、弾き分が無い状態にしておく必要があります。

2. 養生について

サッシや壁・床等に液剤が付かないようにマスキングテープや養生シートで保護してください。

溶剤系の液剤の為、外部での作業においても、換気口・空気取入口などにも養生を行い溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。

3. プライマーについて

ガラスとコーティング剤の密着性を上げる為に必要な工程になります。刷毛・ローラー及び不織布にてまんべんなく塗り広げます。注意点として、塗り残し部分が無いように角や端にも塗布するように注意してください。また、プライマー自体の膜厚は薄塗りで構いませんので液だれや塗り筋が残らない様に注意してください。乾燥時間は5分から10分にて乾燥しますので手早く塗り広げてください。プライマーを塗り長時間（12時間以上）放置すると密着性が悪くなる場合もありますので、ご注意ください。

4. 遮熱節電ガラスコートコーティングについて

遮熱節電ガラスコートコーティングは塗りムラが出やすい為推奨ローラー【大塚剛毛】ハイトップ 2色塗り スモール3mm 丈 4in・6in）をご使用下さい。

塗付け量は、1㎡当たり15g～20gです。あらかじめガラスサイズを計り適量を計量してトレイに入れてご使用ください。ローラーに浸み込む量は、一定以上になると垂れますので、トレイの端でこそぎ落とすか、多く浸み込み過ぎた場合には布等で軽く取り除いてください。

ガラス面に塗布する際には、ローラーにしみ込んだコーティング剤を上部から塗り広げられるだけ塗り広げ、コーティング剤がかすれた状態で再度ローラーにコーティング剤を付け、液切れの場所から縦ぎ足し塗り広げる作業を何度か繰り返して全面に塗り広げます。その後、再度上部から、ガラス面の表面を均等にならす用にローラーで規則正しく清書するように縦横なぞります。液だれの跡や、塗りムラ、塗り筋が残らないように注意してください。

※ただし、大きなガラス（約2㎡以上）の場合には、小面積（約2㎡）ずつの施工を繰り返してください。

5. 保護コートについて

保護コートは、遮熱節電ガラスコートコーティングをさらに強固にするものです。遮熱節電ガラスコートコーティングの表面の硬さ及び滑り性を向上させるものです。

保護コートは、遮熱節電ガラスコートコーティングの上塗りが完全に乾燥した状態で不織布に適量付け、WAXを塗るようまんべんなく塗り広げます。

完全硬化までには24時間ほどかかります。完全に硬化するまで触らない様にしてください。

□施工上の注意事項

- ☆ 作業場所は火気厳禁です。

- ☆ 網入りガラスへの施工は避けてください。

- ☆ 施工は、ほこりやチリが付着しない場所で行ってください。

- ☆ 施工は、換気の良い場所で行ってください。

- ☆ 施工時は、保護マスク・保護手袋・保護眼鏡・保護衣を着用してください。

- ☆ 飛散防止の為、必ず養生を行ってください。

- ☆ 屋外での施工において降雨時、降雪時は避けてください。

- ☆ ガラス面に他に塗布した形跡がある場合やハジキが酷い場合には、ガラス研磨剤等にて研磨後、ハジキがなくなっている事を確認後に施工してください。

- ☆ 結露が発生する懸念がある場合には、施工は避けてください。

- ☆ プライマーで使用したローラーはコーティング時には使用しないで交換してください。

- また、1施工毎にローラーを交換してください。

- ☆ 十分な塗膜性能を確保するため、既定の使用量をおまもりください。

- ☆ 遮熱節電ガラスコートコーティングは高温下では硬化反応が著しく速まります。気温が30℃以上の時には希釈剤を使用してください。

- また、気温が35℃以上の時には施工しないでください。

- ☆ 過剰希釈をするとか本来の機能を損なう恐れがありますので、既定の希釈量を守ってください。

- ☆ 施工時に溶剤蒸気が入り込まないよう居住者への配慮をお願いします。

- ☆ 溶剤を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミスト等を吸い込まないように十分にご注意ください。

- 飲み込まないようにご注意ください。

- 眼に入らないようにご注意ください。

- ☆ 開封後は、硬く栓を閉めて冷暗所に保管してください。

- 施錠して保管してください。

- 子供の手の届く所には置かないでください。

- 漏洩の原因になりますので、保管・運送時に容器を横にしないでください。

- 火気厳禁 着火源から離して保管すること。

- ☆ 直射日光があたる場所への施工では、施工後ガラスの熱割れが起こる場合があります。極端に大きな影ができる場所など温度差が発生する場所には施工は避けてください。

熱割れは通常の使用でもおこります。施工後の注意点として、

- ①ガラス付近にものを積まないでください。ガラスに影が落ちてしまい、温度差ができてしまうと熱割れの原因になります。

- ②ブラインドやカーテンをガラスに密着させないでください。触れている箇所と触れていない箇所に温度差ができて熱割れがおきます。

- ③冷暖房の風をガラスに直接当ててしまうと、当たっていない部分との温度差が大きくなり、熱割れがおきてしまう場合があります。

- ④冷暖房の室外機をガラスから離してください。室外機から出る風は高温のため、特に注意が必要です。

- ☆ 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

- ☆ 未開封で冷暗所保存の場合のみ製造後6か月保証します。



株式会社インVENT

□施工上の注意事項

- ☆ 作業場所は火気厳禁です。

- ☆ 網入りガラスへの施工は避けてください。

- ☆ 施工は、ほこりやチリが付着しない場所で行ってください。

- ☆ 施工は、換気の良い場所で行ってください。

- ☆ 施工時は、保護マスク・保護手袋・保護眼鏡・保護衣を着用してください。

- ☆ 飛散防止の為、必ず養生を行ってください。

- ☆ 屋外での施工において降雨時、降雪時は避けてください。

- ☆ ガラス面に他に塗布した形跡がある場合やハジキが酷い場合には、ガラス研磨剤等にて研磨後、ハジキがなくなっている事を確認後に施工してください。

- ☆ 結露が発生する懸念がある場合には、施工は避けてください。

- ☆ プライマーで使用したローラーはコーティング時には使用しないで交換してください。

- また、1施工毎にローラーを交換してください。

- ☆ 十分な塗膜性能を確保するため、既定の使用量をおまもりください。

- ☆ 遮熱節電ガラスコートコーティングは高温下では硬化反応が著しく速まります。気温が30℃以上の時には希釈剤を使用してください。

- また、気温が35℃以上の時には施工しないでください。

- ☆ 過剰希釈をするとか本来の機能を損なう恐れがありますので、既定の希釈量を守ってください。

- ☆ 施工時に溶剤蒸気が入り込まないよう居住者への配慮をお願いします。

- ☆ 溶剤を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミスト等を吸い込まないように十分にご注意ください。

- 飲み込まないようにご注意ください。

- 眼に入らないようにご注意ください。

- ☆ 開封後は、硬く栓を閉めて冷暗所に保管してください。

- 施錠して保管してください。

- 子供の手の届く所には置かないでください。

- 漏洩の原因になりますので、保管・運送時に容器を横にしないでください。

- 火気厳禁 着火源から離して保管すること。

- ☆ 直射日光があたる場所への施工では、施工後ガラスの熱割れが起こる場合があります。極端に大きな影ができる場所など温度差が発生する場所には施工は避けてください。

熱割れは通常の使用でもおこります。施工後の注意点として、

- ①ガラス付近にものを積まないでください。ガラスに影が落ちてしまい、温度差ができてしまうと熱割れの原因になります。

- ②ブラインドやカーテンをガラスに密着させないでください。触れている箇所と触れていない箇所に温度差ができて熱割れがおきます。

- ③冷暖房の風をガラスに直接当ててしまうと、当たっていない部分との温度差が大きくなり、熱割れがおきてしまう場合があります。

- ④冷暖房の室外機をガラスから離してください。室外機から出る風は高温のため、特に注意が必要です。

- ☆ 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

- ☆ 未開封で冷暗所保存の場合のみ製造後6か月保証します。